

第69期 株主通信

平成 28 年 11 月 1 日 ▶ 平成 29 年 10 月 31 日



「いのちと自然を守り育てる」

CONTENTS

トップメッセージ

当期経営成績

特集

連結財務諸表

株式情報 / 会社情報



クミアイ化学工業株式会社

証券コード 4996

経営統合によるシナジー創出で、
堅固な基盤をつくり、
更なる飛躍を目指します。

株主の皆様には、平素より格別のご支援ご愛顧を賜り
厚く御礼申し上げます。

当社は平成29年5月1日にイハラケミカル工業株式会社と
経営統合し、新生「クミアイ化学工業株式会社」としてスタート
いたしました。

Create the Future
未来を拓く

幸せで日本一の永続企業
安全安心で豊かな食と農に貢献する
業界トップへと飛躍する



プロセス一体化による事業基盤の強化で持続的発展へ

当社グループはこのほど平成30年10月期より3カ年の中期経営計画を策定しました。経営統合で実現したプロセス一体化によるシナジー効果を早期に発現し、農業生産の課題を解決する研究開発型企业を中心とした“将来に亘って持続的に発展できる強い企業集団”を目指してまいります。迅速な意思決定や効率化という「スピード」が、「コスト」競争力をつくりだし、技術革新や総合科学力の発揮等「イノベーション」を生み出して行く。これが新生クミアイ化学の飛躍へのシナリオです。

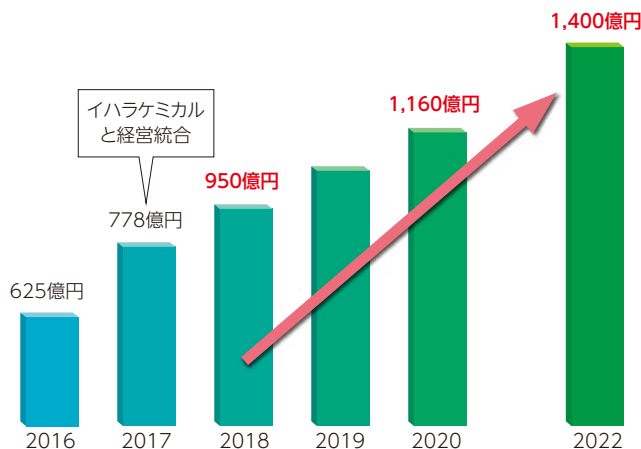
農業及び農業関連事業は、国内において自社開発剤の最大化に向けたマーケティング戦略と、株式会社理研グリーンの販売ルートを最大限活用し自社原体の拡大を目指します。海外市場においては、成長ドライバーである畑作用除草剤アクシーブのインド、ブラジル、中国などでの登録取得による販売国の更なる拡大を図り、直播水稻用除草剤ノミニーは、インドでの拡大のため合併会社 PI Kumiai Private Limitedを設立し平成30年度からの生産開始を予定しております。

化成品事業は、タイ王国に設立した Iharanikkei Chemical (Thailand) Co., Ltd.の工場が平成30年に完成予定であり、キシレン誘導体ビジネスの中心となる製品を生産する等、海外生産拠点を含めた事業の最適化を図ります。また当社グループの化成品プロジェクトチームを発足しており、当事業を収益の第二の柱として育成してまいります。

研究開発に関しては、水稻用除草剤エフィード（フェンキノトリオン）の国内登録取得を近々に見込んでおり、水稻用殺菌剤ジクロベンチアゾクスの国内登録申請も準備中です。また、平成29年11月1日に新剤創製を担っていた子会社の株式会社ケイ・アイ研究所を吸収合併し、今後の更なる新規原体開発力、製品開発力を強化してまいります。

以上に加え、調達ネットワークや生産技術の革新によりコスト低減を図り、価格競争力と収益性を高め、またM&Aや事業提携により、2020年に売上高1,160億円、営業利益90億円、ROE7.5%以上を目標とし、2022年には売上高1,400億円を目指してまいります。

2018新中期経営計画・長期ビジョン 売上実績・目標



当期経営成績

当期における我が国経済は、企業収益が好調に推移し設備投資の増加がみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。農業に関しては、農業生産額の大幅な減少等、厳しさを増す中、課題解決を図るべく政府の「農業競争力強化プログラム」を中心とした様々な施策が進められております。国内の農薬市場は、近年3,300億円規模で横ばい状態が続いております。政府主導の農業生産資材価格引き下げなど低コスト化の流れは加速し今後も厳しい状況が続くと考えられます。世界の農薬市場は流通在庫の増加や新興国の需要鈍化など伸び悩みをみせていますが、世界人口の増加により、中長期的には市場は拡大するとみられております。

このような情勢の下、当社はイハラケミカル工業株式会社と経営統合し、新生「クミアイ化学工業株式会社」と

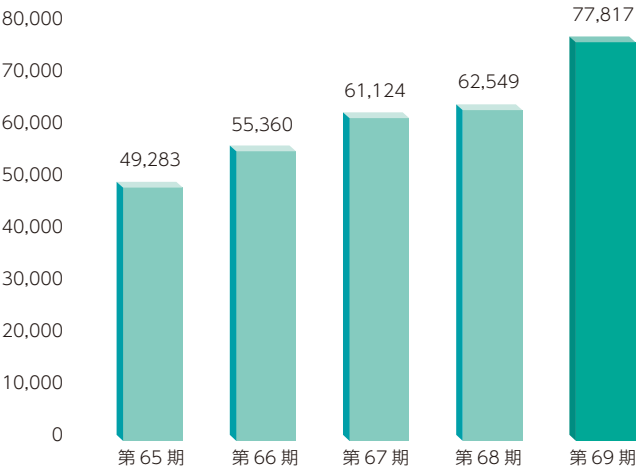
してスタートしました。これにより当社グループの事業セグメントの区分を「農薬及び農業関連事業」・「化成品事業」・「その他」に改めました。本経営統合による事業の拡大等により、売上高は、778億1千7百万円、前年比152億6千7百万円（24.4%）の増加となりました。営業利益は、売上高が増加したことなどから、37億6千4百万円、前年比14億9千7百万円（66.0%）の増加となりました。経常利益は、営業外収益に持分法による投資利益29億8千5百万円を計上したことなどから、74億4千1百万円、前年比29億6千3百万円（66.2%）の増加となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失に段階取得に係る差損8億4千1百万円を計上した一方で、特別利益に負ののれん発生益28億1千3百万円を計上したことなどから、72億5千2百万円、前年比38億3千万円（111.9%）の増加となりました。

売上高

前年比24.4%増

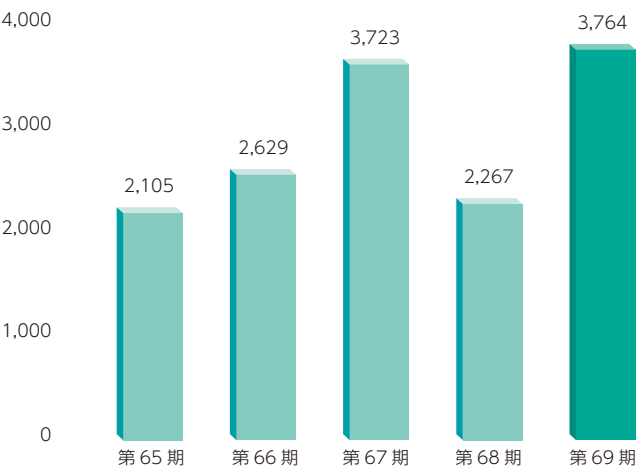
(単位: 百万円)



営業利益

前年比66.0%増

(単位: 百万円)



「農業及び農業関連事業」の売上高は前年比8.6%増の606億3千6百万円となりました。国内販売部門の農耕地向け製品は、水稲用除草剤「フェノキサスルホン」と「ピリミスルファン」との混合剤の販売が好調に推移したものの、競合激化による既存主力製品の落ち込みで水稲用除草剤全体では前年をわずかに下回りました。また、水稲用箱処理剤は、「イソチアニル剤」を含む混合剤の販売は伸張しましたが、既存剤の販売が減少し、前年並みとなりました。これらの結果、水稲剤全体では前年並みとなりました。園芸分野では、殺菌剤「ファンタジスタ剤」、殺虫剤「サイアジピル剤」、「スプラサイド剤」などの主力製品の販売が堅調に推移し、前年を上回りました。非農耕地向け薬剤販売及び受託加工は好調で前年を上回りました。海外販売部門は、畑作用除草剤「アクシーブ剤」が穀物価格の低迷や在庫調整の影響を受けて販売が伸び悩み、直播水稲用除草剤「ノミニー」がインドにお

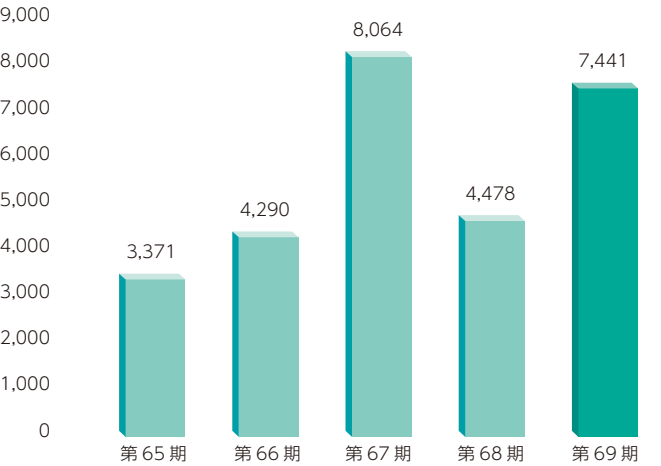
いてジェネリック品と競合し、販売が減少しました。これらの結果、海外販売部門全体では前年を下回りました。

「化成品事業」の売上高は、前年比387.6%増の109億3千7百万円となりました。化成品事業は、大部分をイハラケミカル工業株式会社及びその連結子会社から継承したものであります。

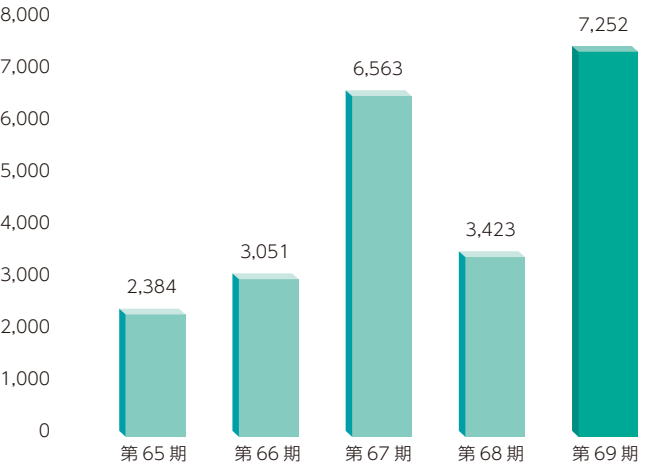
第69期の期末配当は、当期の経営成績などを鑑み、1株当たり8円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

当社は、平成29年5月1日付でイハラケミカル工業株式会社と経営統合を行いました。これにより当連結会計年度の連結業績は、当社の第2四半期連結累計期間(平成28年11月1日～平成29年4月30日)6ヶ月の連結業績に、経営統合後の当社の下期(平成29年5月1日～平成29年10月31日)の連結業績を加算した金額となります。この影響で当連結会計年度の各計数は、前連結会計年度と比較して大幅に変動しております。

経常利益 前年比66.2%増
(単位: 百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 前年比111.9%増
(単位: 百万円)



特集：グループ企業の連携を、成長の力に変える

国内外に、ひろがるネットワーク

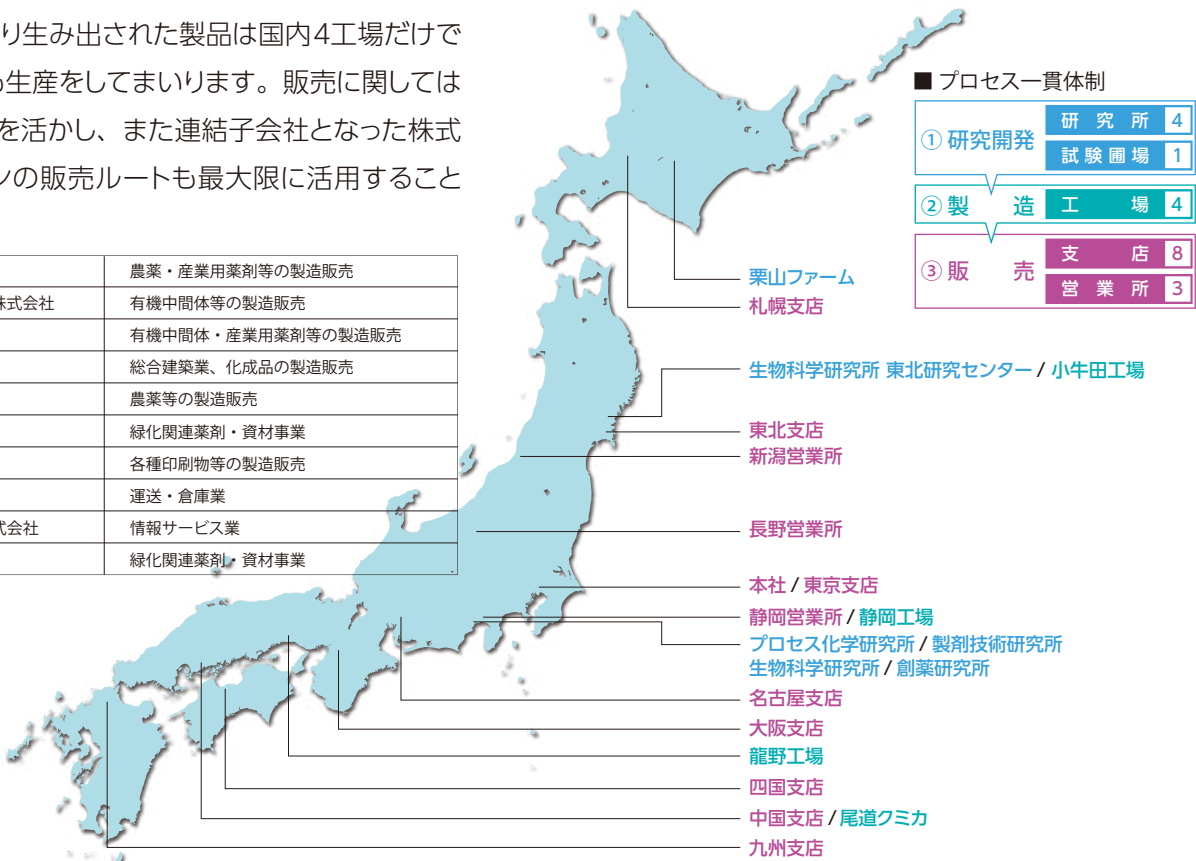
当社グループでは、平成29年5月1日のイハラケミカル工業株式会社との経営統合および平成29年11月1日に新剤創製を担っていた子会社である株式会社ケイ・アイ研究所の吸収合併により、農薬の創製から原体調達、製剤、販売に至るまでのプロセスを一体化いたしました。創薬から工業製造確立までを段階的に担う4研究所体制にすることで、原体開発力、製品開発力の更なる強化を図ります。研究により生み出された製品は国内4工場だけでなく海外工場でも生産をしております。販売に関しては全国ネットワークを活かし、また連結子会社となった株式会社理研グリーンの販売ルートも最大限に活用すること

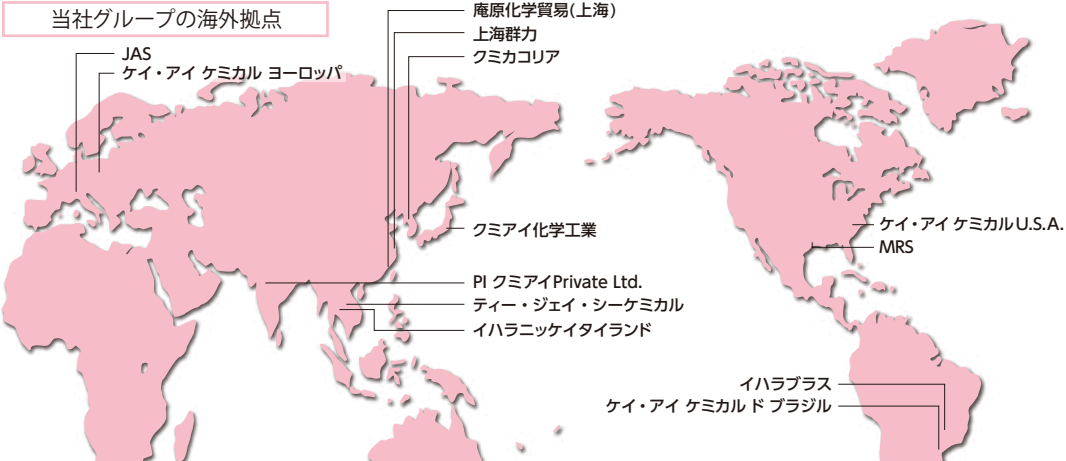
■ 関連会社

株式会社理研グリーン	農薬・産業用薬剤等の製造販売
イハラニッケイ化学工業株式会社	有機中間体等の製造販売
ケイ・アイ化成株式会社	有機中間体・産業用薬剤等の製造販売
イハラ建成工業株式会社	総合建築業、化成品の製造販売
尾道クミカ工業株式会社	農薬等の製造販売
良地産業株式会社	緑化関連薬剤・資材事業
日本印刷工業株式会社	各種印刷物等の製造販売
株式会社クミカ物流	運送・倉庫業
ケイアイ情報システム株式会社	情報サービス業
浅田商事株式会社	緑化関連薬剤、資材事業

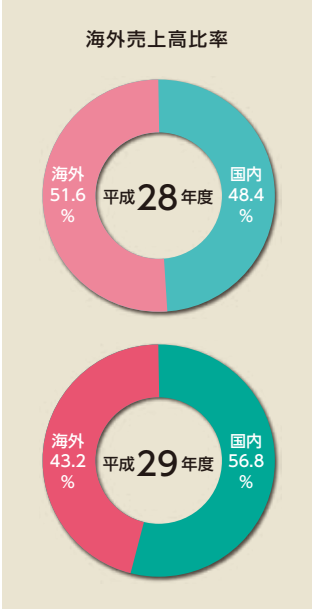
で、シェア拡大を目指してまいります。海外市場においては、インド、ブラジル、中国などへ販路を拡大し、海外生産拠点を含めた事業の最適化、最大化を図ってまいります。スピード、コスト、イノベーションというスローガンのもと、国内外のネットワークや連携を強化し、研究から販売までのプロセスを一貫してグループ内で行うことで、グループ全体の成長につなげてまいります。

国内研究施設・支店・工場





ケイ・アイ ケミカル U.S.A.	農業事業・化成品事業	PI クミアイPrivate Ltd.	農業事業
ケイ・アイ ケミカル ヨーロッパ	農業事業・手数料事業	ティー・ジェイ・シーケミカル	農業事業
ケイ・アイ ケミカル ドブラジル	受託事業	イハラプラス	農業事業
クミカコリア	農業事業	上海群力	農業事業
庵原化学貿易(上海)	農業・農業原料等の技術・販売サポート	MRS	試験場 (ミジシッピ)
イハラニッケイタイランド	化成品事業	JAS	試験場 (ニーム)



成長戦略の第二の柱、化成品事業

経営統合により、化成品に強みを持つイハラケミカル工業株式会社の事業を継承し、化成品事業を当社グループ成長戦略の第二の柱として位置づけて成長を図ってまいります。クロロトルエン・クロロキシレン系化学品、電子材料や高耐熱樹脂等に使われるビスマレイミド類をはじめとする精密化学品、防水材料等の原料となるウレタン硬化剤、防菌・防カビ剤、衛生薬品等の産業薬品の開発及び販売を強化してまいります。グローバル展開の生産拠点として平成30年夏にはタイ王国に設立したイハラニッケイタイランドの工場が完成、キシレン誘導体ビジネスの中心となる製品の生産を予定しております。これらを通じて化成品事業の成長基盤を構築し、収益の柱として育成してまいります。



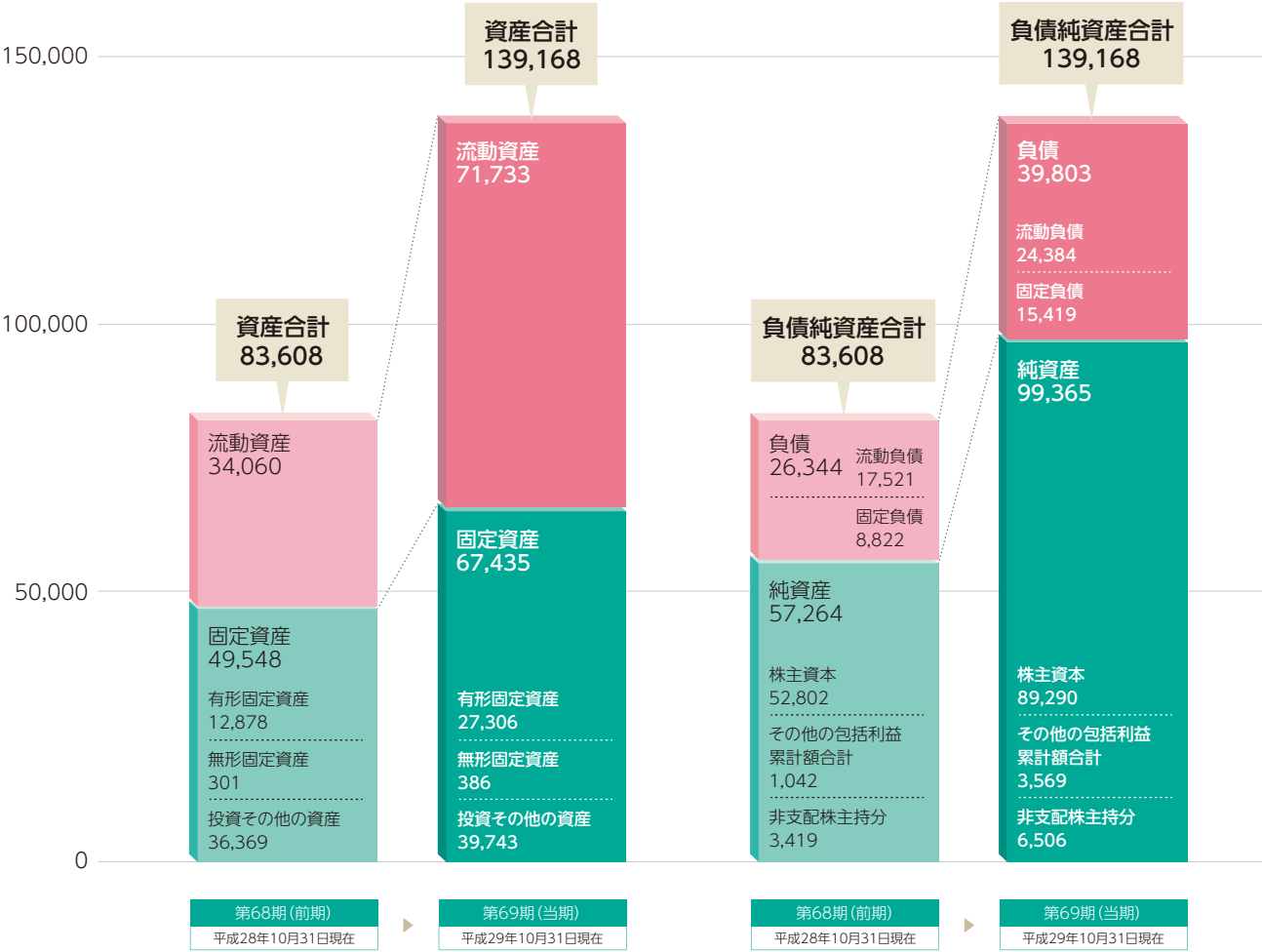
イハラニッケイタイランド工場 平成30年度完成予定

連結財務諸表

当社は、平成29年5月1日付でイハラケミカル工業株式会社と経営統合を行いました。これにより当連結会計年度の連結業績は、当社の第2四半期連結累計期間（平成28年11月1日～平成29年4月30日）6ヶ月の連結業績に、経営統合後の当社の下期（平成29年5月1日～平成29年10月31日）の連結業績を加算した金額となります。この影響で当連結会計年度の各計数は、前連結会計年度と比較して大幅に変動しております。

財務状況

（単位：百万円）

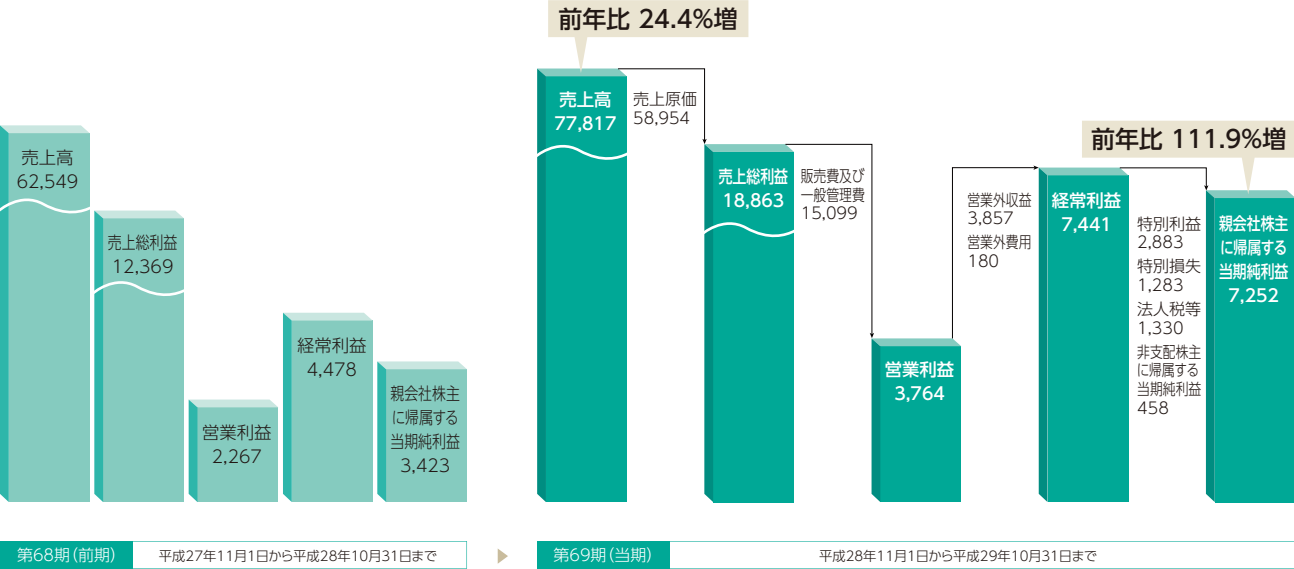


POINT

資産合計は1,391億6千8百万円で、前年に比べ555億6千万円の増加となりました。流動資産が376億7千3百万円増加し、固定資産が178億8千6百万円増加しました。負債合計は134億5千9百万円の増加、純資産合計は421億1百万円の増加となりました。この結果自己資本比率は66.7%となりました。

経営成績

(単位: 百万円)

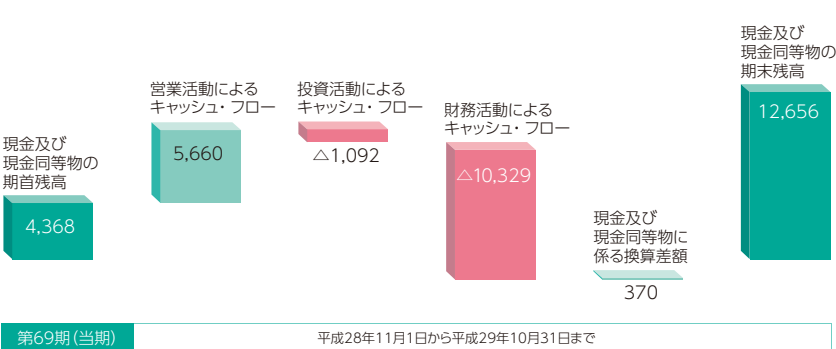


POINT

売上高は778億1千7百万円で前年に比べ152億6千7百万円の増加となりました。すべてのセグメントで売上が増加しております。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失に段階取得に係る差損、8億4千1百万円を計上した一方で、特別利益に経営統合による負ののれん発生益28億1千3百万円を計上したことから72億5千2百万円となり38億3千万円の増加となりました。

連結キャッシュ・フローの状況

(単位: 百万円)



POINT

営業活動によるキャッシュ・フローは56億6千万円の増加となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは10億9千2百万円の減少となりました。これは有形固定資産の取得や貸付等の支出によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは103億2千9百万円の減少となりました。これは短期借入金の減少及び長期借入金の返済によるものです。

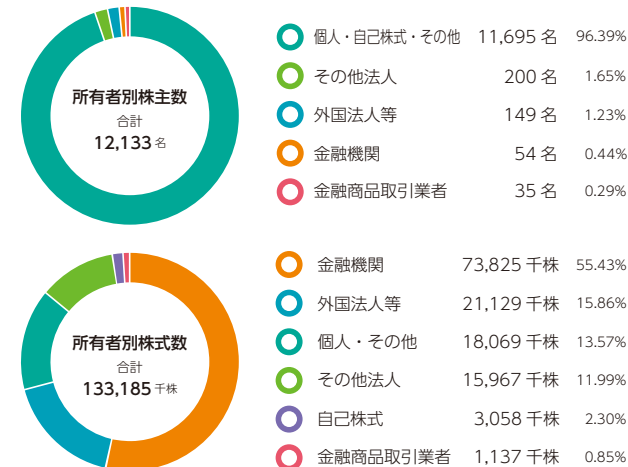
株式情報 / 会社情報

(平成 29 年 10 月 31 日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000 株
発行済株式の総数	133,184,612 株
株主数	12,133 名

株式分布状況



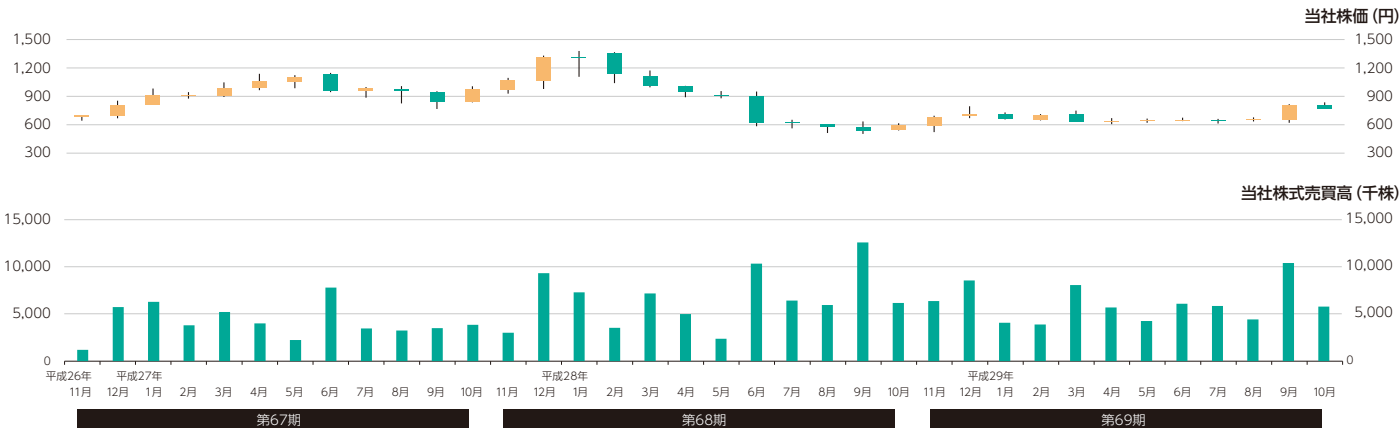
大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
全国農業協同組合連合会	26,527	20.38
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	9,049	6.95
CGML PB CLIENT ACCOUNT / COLLATERAL	7,166	5.50
農林中央金庫	6,117	4.70
スルガ銀行株式会社	4,480	3.44
共栄火災海上保険株式会社	4,381	3.36
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	2,808	2.15
静岡県経済農業協同組合連合会	2,770	2.12
第一生命保険株式会社	2,080	1.59
日本曹達株式会社	1,928	1.48

(注)

1. 持株数は千株未満を切捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式3,057,733株を保有しておりますが上記の大株主から除いております。
3. 持株比率は、自己株式(3,057,733株)を控除して計算しております。

株価・売上高の推移



■ 会社概要

会 社 名：クミアイ化学工業株式会社

設立年月日：昭和24年6月20日

資 本 金：4,534百万円

事 業 内 容：殺虫剤・殺菌剤・除草剤などの農薬の製造・販売
有機中間体・アミン硬化剤等の化成品の製造・販売

従 業 員 数：1,533名（連結）

本社所在地：〒110-8782 東京都台東区池之端一丁目4番26号

■ 取締役及び監査役

代 表 取 締 役	
取 締 役 会 長	望月 眞佐志
代 表 取 締 役	
取 締 役 社 長	小池 好智
代 表 取 締 役	
専 務 取 締 役	柿並 宏之
専 務 取 締 役	早川 正人
常 務 取 締 役	高橋 一
常 務 取 締 役	尾嶋 正弘
常 務 取 締 役	高木 誠
取 締 役	中島 正成
取 締 役	篠原 卓朗
取 締 役	井川 照彦
取 締 役	前田 陽一
取 締 役	佐野 角夫
取 締 役	西尾 忠久
取 締 役	池田 寛二
常 勤 監 査 役	泉澤 和行
監 査 役	白鳥 三和子
監 査 役	多々良 貴久三

（注）取締役佐野角夫氏、取締役西尾忠久氏及び取締役池田寛二氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。常勤監査役泉澤和行氏、監査役白鳥三和子氏及び監査役多々良貴久三氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■ 連結子会社

株式会社理研グリーン	資本金 1,102 百万円 農業・産業用薬剤等の製造販売	出資比率 45.8%
イハラニッケイ化学工業株式会社	資本金780百万円 有機中間体等の製造販売	出資比率 73.7%
ケイ・アイ化成株式会社	資本金600百万円 有機中間体・産業用薬剤等の製造販売	出資比率 100.0%
イハラ建成工業株式会社	資本金461百万円 総合建築業、化成品の製造販売	出資比率 53.3%
尾道クミカ工業株式会社	資本金100百万円 農業等の製造販売	出資比率 100.0%
良地産業株式会社	資本金90百万円 緑化関連薬剤・資材事業	出資比率 45.7%
日本印刷工業株式会社	資本金88百万円 各種印刷物等の製造販売	出資比率 57.8%
株式会社クミカ物流	資本金62百万円 運送・倉庫業	出資比率 73.6%
ケイアイ情報システム株式会社	資本金50百万円 情報サービス業	出資比率 88.5%
浅田商事株式会社	資本金22百万円 緑化関連薬剤・資材事業	出資比率 48.5%
ケイ・アイケミカル U.S.A.,INC.	資本金2百万米ドル 農業等の輸出入	出資比率 100.0%
ケイ・アイケミカル ヨーロッパS.A./N.V.	資本金700千ユーロ 農業等の輸出入	出資比率 100.0%
ケイ・アイケミカルド ブラジル(有)	資本金31百万リアル 受託事業	出資比率 100.0%

株主メモ

- 事業年度：11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会：毎年1月中
株主名簿管理人
特別口座管理機関：東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先(郵送先)：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日：定時株主総会については10月31日、その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
公告の方法：電子公告により行う 公告掲載URL <http://www.kumiai-chem.co.jp/>
(但し、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

株式に関するお手続き等について 当社株式のお手続き窓口とお問合せ先は次のとおりです。

お手続き窓口及びお問合せ先

- まだ受け取っておられない配当金の受領に関するお手続き及びそのご照会
- 特別口座に関する振替請求、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続き
- 株主名簿にご登録の配当金受取方法に関するご照会
- 株主様宛郵便物等の発送と返戻に関するご照会
- 特別口座に関する各お手続き及びそのご照会

お手続き
窓口

三菱UFJ信託銀行株式会社
全国本支店の窓口

お問合せ先

三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問合せ
0120-232-711

インターネットによるダウンロード
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

- お取引の証券会社等に開設されている振替口座に預託されている当社株式に関する単元未満株式買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続き
- 上記の各お手続きに関するご照会

お取引口座を開設されている証券会社等にて
お手続き又はお問合せをお願いします。

IR情報を当社ホームページでご覧になれます。

ホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.kumiai-chem.co.jp/>



自然に学び 自然を守る



クミアイ化学工業株式会社

本社 東京都台東区池之端一丁目4番26号

※この株主通信に関するお問合せは下記までお願いいたします。

総務部 03-3822-5036



環境に配慮した
「植物油インキ」を
使用しています。